

平成24年度 授業&行事スケジュール

		学 科	専 攻 科
4月	3 火	開寮【射水】	開寮【射水】
	4 水	入学式 開寮【本郷】	入学式 開寮【本郷】
	5 木	始業式 前学期授業開始【射水】	始業式 前学期授業開始【射水】
	6 金	前学期授業開始【本郷】	前学期授業開始【本郷】
	27 金	閉寮【射水】	閉寮【射水】
5月	6 日	開寮【射水】	開寮【射水】
	7 月	単位追認試験期間【本郷：2、3年】（～9/20）	
	14 月	1年生合宿研修（～15日）	
6月	16 水	単位追認試験期間【射水：2～5年】（～5/22）	
	6 水	前期中間試験【1～4年生】（～12日）	
7月	18 月	単位追認試験コア期間【本郷：2、3年】（～7/20）	
	4 水	保護者懇談会【本郷：1～4年】（～20日）	
	7 土	北陸地区高専体育大会（～8日）	
	20 金	カッターレース大会【射水】	カッターレース大会【射水】
	24 火		前期末試験【本郷】（～30日）
	26 木	前期末試験【本郷】（～8月2日）	
8月	30 月	前期末試験【射水】（～8月6日）	前期末試験【射水】（～8月6日）
	6 月	全体集会・席上課程修了式・閉寮【射水】	閉寮【射水】
	7 火	夏季休業【射水】（～9月20日）	夏季休業【本郷】（～9月30日） 夏季休業【射水】（～9月20日）
	9 木	全体集会【本郷】	
	10 金	夏季休業【本郷】（～9月30日）、閉寮【本郷】	閉寮【本郷】
9月	18 土	全国高専体育大会（～28日）	
	18 火	保護者懇談会【射水】（～20日）	
	20 木	開寮【射水】	開寮【射水】
	25 火	商船学科卒業式	海事システム工学専攻修了式
	27 木	単位追認試験【本郷：4、5年】（～28日）	
10月	30 日	開寮【本郷】	開寮【本郷】
	1 月	後学期授業開始	後学期授業開始
	12 金	合同球技大会（予定）	合同球技大会（予定）
	16 火	第2学年県外研修（日帰り） 第3学年県内工場見学（日帰り） 第4学年県外工場見学（16～19日）	
	17 水		
	18 木		
	19 金		

編集後記

広報戦略室
足立 繭子

「高専通信」第4号をお届けします。今号の編集方針は、学生の活動を何よりも中心に据えるというもので、従来の号よりも掲載写真が多くなっているのはそのためです。日頃の学生の生き生きとした活動ぶりを、今まで以上に感じていただけるのではないかと思います。また、従来は文章のみの記事についても、今号ではなるべく学生の顔写真を付けることにしました。どのような学生が書いた文章であるのかが一目でわかるので、両キャンパスを通じて、学生相互の関心を高め合ったり、学生同士の交流が深まったりする契機になってほしいと願っています。

新しく赴任したばかりの4月に編集長を仰せつかって以来、右も左もわからぬまま、本当に多くの方々に助けられて、どうやらこうやら今号の刊行に漕ぎ着けることができました。お忙しい中、原稿執筆や写真の提供、校閲などに快くご協力いただきました教職員・学生のみなさまに、深く感謝いたします。

年に2回の刊行ですので、どうしても速報性に欠けはしますが、今後も「高専通信」をより良いものにしてゆくために、ご意見・ご要望などがございましたら、広報戦略室までお寄せいただくと幸いです。



高専通信

富山高等専門学校 vol.4



射水キャンパス 卒業式・修了式 答辞を読む 宮西 由貴さん



本郷キャンパス 卒業式・修了式 答辞を読む 寺尾 啓くん

contents

- 02 卒業式・修了式（本郷キャンパス）
卒業生表彰
- 04 卒業式・修了式（射水キャンパス）
卒業生・修了生表彰
- 06 卒業生・修了生の進路
- 07 専攻科生の就職・進学体験記
- 08 高専祭
- 10 ロボットコンテスト 2011
- 12 県外工場見学（4年生）
- 14 県内工場見学（本郷3年生）
県外研修（2年生）
スキー合宿（射水3年生）
- 16 合同球技大会
- 17 後期クラブ成績
2011 富山高等専門学校講演会
教職員受賞紹介
- 18 インターンシップ
- 20 学寮から
- 22 地域人材開発本部
- 24 図書館情報センター
- 26 退職教員・職員挨拶
追悼 齋藤朗先生
- 28 平成24年度 前期授業&行事スケジュール
編集後記

卒業式・修了式

卒業研究を終えて

電気工学科 寺尾 啓

高専には5年生の時に卒業研究という通年10単位の科目があります。これだけ多くの時間を使って何をするのかというと、それぞれが自分で研究室を選び、その研究室でそれぞれが自分の目標に向かって研究に取り組む、ということになります。つまり、卒業研究では、普通の授業とは違って、学生それぞれが主体的であることを要求されるのです。私はこの主体的な場に身を置くことによって、そこでは与えられるのを待つ受け身の姿勢は通用しないこと、すなわち「自分が何もしなければ何も進歩しない」ということに気が付きました。はじめは自分にできそうなことを「何かやってみよう」と思ったところから努力を重ね、卒業が近づくころには、自分で一つの物を創り上げることができるようになりました。この経験を二十歳という若さで得られたことは、私にとってとても貴重であり、この環境を提供してくれた富山高専に感謝しています。

専攻科修了を迎えて

エコデザイン工学専攻 井波 崇

高専での7年間は短くも充実した時間でした。専攻科では、他学科の学生とも一緒に学習するので多様なものの見方や考えを知ることができ、また、将来技術者として役立つ、より実践的なものの考え方を身につけることができました。

本科5年から始まった卒業研究は、専攻科でも特別研究として継続し、多くの時間をかけて取り組みました。何度も途中で行き詰まったのですが、その度に指導担当の先生・同学科の先生方からの的確な指摘をいただいたり、先輩・後輩たちと意見を交わしたりすることで、やり遂げることができました。また、指導担当の先生には、研究上の知識や技術のみならず、進路や社会マナーに関することからも、教えていただきました。これら特別研究で得た多くの方々との交流や経験は、自分にとって貴重な財産となっています。

ご指導いただきました担当の先生をはじめ、諸先生方、先輩・後輩、そして共に学び遊んだ友達のみならず、本当にありがとうございました!!



答辞を読む 修了生総代 谷島 清哉くん

卒業生表彰

学業優秀賞

志鷹 拓哉 (機械工学科)
奥野 颯 (電気工学科)
赤井 智美 (物質工学科)
伊東 篤志 (環境材料工学科)

特別賞

学生会活動功労賞
小橋 正明 (物質工学科)
小野 歩 (電気工学科)
草 彰彦 (電気工学科)
伊東 篤志 (環境材料工学科)

寮生会活動功労賞

大丸 祥平 (機械工学科)
熊野 真依 (機械工学科)
山崎 拓哉 (電気工学科)

応援しています

事務部長 飯嶋 裕一



この2年間、富山高専において充実した仕事をさせていただきました。関係のありました皆様にお礼申し上げます。この3月に定年退職します。4月から、本校の発展、卒業生及び教職員の方々のご活躍を楽しみに、富山高専の応援団の一員として東京で生活していきます。大学卒業後、アパレル会社を経て、国家公務員として国立極地研究所、第29次南極地域観測隊、詫間電波高専(当時)、富山医科薬科大学(当時)及び高エネルギー加速器研究機構に勤務し、法人職員として高エネ研究機構、東京工業大学、石川高専及び富山高専に勤務してきました。この37年間の民間会社、公

務員、法人職員の職場で、よき上司、同僚、部下に恵まれ仕事をし、健康で退職することが出来るのは、素晴らしい仕事人生であったと思っています。さらに、仕事をとおして日本及び国際社会の一員としての責務を果たしてきた幸せも感じています。4月からは、生まれ育った地元地域に貢献できる活動を、家族とともに始めていくことを予定しています。21世紀中盤にむかう日本及び国際社会への貢献は、富山高専を巣立っていく方々にバトンタッチをします。それぞれの立場で、人生を楽しみ充実させながらご活躍ください。そのことが日本の元気につながります。皆さんを応援しています。

その他の退職者

木村 義則

現職名：練習船若潮丸 甲板長
採用年月日：昭和45年4月1日
退職年月日：平成24年3月31日

古川 和男

現職名：総務課 自動車運転手
採用年月日：昭和51年6月1日
退職年月日：平成24年3月31日

追悼 齋藤朗先生

齋藤朗先生を偲んで

「おーい、笹谷 30回生、一緒に仕事よろしくな。」齋藤朗君が2007年春、着任した私にかけてくれた第一声でした。

齋藤朗君と私は1978年東京商船大学30回生として、彼は機関学科、私は航海学科に入学した同期ということもあり、学校の仕事をいろいろ教えてもらう中で、話題は自然と寮生活を中心とした学生時代のこととなりました。

全寮制に近く女人禁制の古色蒼然とした歴史あるキャンパスにあって、彼は山岳部に所属し山男の風体をなす江戸っ子としてその存在感を示していました。

4年神様、3年人間、2年従僕、1年奴隷という縦社会の中で、5月と1月にある1週間の Cutter 訓練では、早朝5時全寮内に響き渡る「総員起こし」にたたき起こされ、軍艦マーチとともに1番出艇を目指して全寮生が実習場に突進、1艇に40人以上が乗艇、晴海運河、築地市場前を上級生の容赦のない怒声と蹴りを背中に喰いながら、手と尻の皮がむけるまでオールを漕ぎ続けた学生時代に話がはずみました。

志があれば必ずかなう「青春」という言葉が光り輝いていた学生時代をともに送った彼が、病を得て回復

商船学科 准教授 笹谷 敬二

ならず、一昨年9月射水市民病院からわずかな望みをもって千葉県の病院に搬送同伴する車中で、覚悟はしていたのであろう研究テーマとしてのマイクロバブルのこと、特許のこと、卒研指導について熱く語る彼の姿に胸がつぶれる思いでした。

昨年8月31日彼の訃報に接し、同期生として、あのとき外航士官を目指した者ならば誰もが肩を組み放歌した寮歌を彼の追悼として捧げたいと思います。



ありし日の齋藤朗先生

寮歌
ああ月明は 淡くして
一 ああ月明は 淡くして
北斗の星の さゆるとき
さざめく波に 塵の世は
わが住む里に あらじとぞ
沙の香あびし 海の子が
概世の意気 天をつく

二 浩蕩万里 波こえて
ゆくや南溟 椰子のかげ
船橋凍る海遠く
しぶきは白し北氷洋
高き理想に ふるい立ち
船出のあした 誓うかな

三 男子一度 海に生き
海に死なんと 誓いては
聖なる剣 抜きはなち
誘う迷魔 切りたおし
正義の航路 ひとつに
進まんかなや もろともに

Graduation Ceremony 2012.3.16

卒業・修了おめでとう 担任からのメッセージ

卒業を祝して

機械工学科 増山 圭一



5年機械工学科の学生諸君、卒業おめでとう！ 本校で過ごした5年間は有意義でしたか。夢に描いたものは、どの様な形で現在手にしているのでしょうか？

卒業に際して、まずは20歳まで大病することなく育ててくれた親に感謝しなさい。また、これまでの生活を振り返り、反省すべき所が無かったのか顧みなさい。なぜそうなったのか、どうすればよかったのかを考え、同じ失敗を繰り返さないことは技術者の要件であると思います。

皆さんを1年間担任として見てきて感じたことは、やれば出来るのにやらずに出来ない人が非常に多いということです。皆さんが飛び込む社会は、結果責任です。学校で学ぶ知識以上のことを今から勉強するのです。自分の背中を押すのは他人ではなく自分です。足を前に踏み出すのも他人ではなく自分です。押しつけないから歩けないのでは困ります。どうぞ自分に厳しく、物事をまっすぐに見られる技術者として活躍されるよう期待しています。

卒業おめでとう

電気工学科 池田 慎治



で卒業おめでとうございます。就職する人、進学する人、進路は様々です。春からの新しい生活に向けての期待は大きいでしょうし、その一方で不安や心細さも多少あるかもしれません。高専の卒業生は、社会全体での人数割合は小さいはずですが、案外いろいろなところで幅広く活躍しており、存在感があるものです。それでも周囲に高専卒業生が見当たらない、という場合でも心配は無用です。そのような環境こそ、高専卒業生は新たな種類の力として評価されることでしょう。高専での経験、そして自分の得意技や個性を前面に出して、開拓者精神を発揮して欲しいと思います。学業でも仕事でも、この先苦しいときはあると思いますが、無理せず逃げ出さず、心身共に適度な緊張を維持するよう心がけ、健康に気をつけながら頑張ってください。皆さん一人一人の活躍を祈っています。

おめでとう！

物質工学科 米谷 正



卒業生のみなさん、おめでとうございます。周りの人達全員から「おめでとう」と言われる人生の中でも数少ない機会です。これまで義務教育を含めて14年間、一般教養教育から専門教育まで大変ご苦労さんでした。これから社会人になる人、また進学する人とそれぞれですが、共通していることは、皆さんは成人式を終えてまさしく大人になっておられるということです。これからの人生は、自分で情報を集め、自分で考え、自分で行動し、自分で結果に

対する責任を取らなければなりません。そうして初めて大人と言える訳です。

さて皆さん、目の前には洋々たる前途が待ち構えているように思っておられるかもしれませんが。特に20代、これからの10年は人生の中で多くのことが起こる可能性があります。その後は、あっという間に道は少なくなっていくと思います。そして、一人ひとり歩んできた道が一本の道になって残ります。自分の人生を振り返って後悔しないようによく考えて歩いていただきたいと思います。

卒業生に向けて

環境材料工学科 坂本 佳紀



まずは卒業おめでとうございます。本年度の環境材料工学科卒業生数は30名、うち進学17名、就職(ボランティア等含む)13名でした。就職進学活動スタート直後から日本を取り巻く状況が大きく変わったなか、ある一面では大変苦しい就職進学活動でした。この状況下で今までの人生で最大の選択に對しいろいろ苦しみながら決断をし、前に進むことは大変だったと思います。

さて、そんな中、担任が進路指導に関して注意していたことは、学生諸君が「できるだけ多くの情報を自主的に集めること」と「進む道は自分で決めること」でした。担任の「なぜその選択なの」という質問には嫌気がさしたことと思います。進学、就職にかかわらずこれからの人生、大小いろいろな岐路が何度も出てくるでしょう。その時には出来るだけ多くの情報を収集し、論理的に判断し進む。そして、いったん決めたら決断をプラスに活かすように前向きに進んでいてもらいたいと思います。

専攻科修了を祝して

副専攻科長 西 敏行



専攻科2年生のみなさん、修了おめでとうございます。今年度の修了生が、専攻科に入学したのは平成22年度です。当時の日本は、不況ではあってもまだ穏やかな感じでした。そのような中で、みなさんは1年生として勉強や研究に励みました。そして、これから就職試験、大学院進学を目指そうという矢先の3月に、東日本大震災という未曾有の災害が発生しました。日本中が不安定な状態、そんな中での就職活動、大学院への入試勉強は大変だったろうと思います。しかし、それでも就職や進学を決め、専攻科を修了できたことは、みなさんの努力の賜だと思えます。これからの人生には、思い通りにならないことばかりかもしれませんが、これまで数々の困難を乗り越えてきたみなさんなら、必ず道は開けると思えます。日本の未来を切り開くのは、みなさんのような若者です。これからも体に気を付け、日本を元気にする力となって頂けることを期待しております。

退職 教員・職員 挨拶



富山商船高専に情報工学科が設立された頃

国際ビジネス学科 教授 木下 健治



私が射水キャンパスに勤務したのは、昭和60年の学科改組で設立された富山商船高専の情報工学科に着任してからです。この数年前から全国の5商船高専の志願者数がかなり減少して、学科改組が検討されていました。本校では、電気系科目を担当されていた先生が中心となって新学科を情報工学科とされました。これは富山工業高専(現在の本郷キャンパス)の学科内容と重複しないための配慮であったとお聞きしました。

男子学生ばかりの商船高専に、情報工学科一期生として数名の女子学生が入学したことは、新聞に掲載されるなどして話題になりました。情報工学科以外は全寮制で、富山県外の学生が多く、学内の雰囲気も現在

とかなり異なっていたように思います。情報工学科一期生には、県外から入学した優秀な学生もいて、全員が明るく元気に勉強していました。その後、多数の教職員や学生の努力により、工業系学科を含む商船高専の新しい一面が、富山県内外に広く認識されるようになりました。

あれから25年以上の歳月を経て射水キャンパスの環境は大きく変わりましたが、私は3月で退職します。4月からは再雇用で、射水キャンパスに在籍している情報工学科4・5年生の専門科目を引き続き担当する予定です。

現在、日本の将来には難しい様々な課題が山積しています。若い方々はこれらの問題に注視して、解決の方向を見いだす必要があるでしょう。

3つの校歌から思う事

商船学科 助教 齋藤 正



私は本校の卒業生です。私が過ごした旧富山商船高校の跡地には、今は射水市立・奈古中学校があります。当時は古い木造校舎の男子全寮制校でした。高専への昇格が決まった時には、移行準備のために校内が華やいでいた事が思い出されます。

その後、船会社に38年間勤務し、遙か当時の記憶も鮮明なまま5年前に母校に戻って来ました。そしてビックリしました。広い敷地と鉄筋校舎、たくさんの女子学生にバス通学、昔とは別世界で浦島太郎の思いでした。不在の間に高専となり、商船学科の他に情報工学科・電子制御工学科・国際流通学科が開設され、本校のめざましい変革を認識しました。それからさらに、在職中に富山工業高専との統合がありました。

これらの出来事は本校の歴史の大きな節目であり、その時に居合わせた事は私にとっても幸せでした。そ

して、富山商船高校・富山商船高専・富山高専と3つの校歌を知るようになった事に、不思議な巡り合わせを感じています。本校100年の歴史の中には幾度か廃校の危機もあったと聞いています。存続できたのは、その時々に関係者の存続に向けての強い意志と努力とともに、その時代と社会の要求に上手く対応し変革しえたからだと思えます。

私は人生の終奏曲にありますが、学生諸君は若く未だ前奏段階です。学生諸君は本校の学生であることに誇りを持って、我ら100年、更に100年先へと歴史が続くように本校を盛り上げ続けて頂きたいと思えます。退職はしますが、再雇用によって、4月には再び校内でお会いできるでしょう。その時は気軽に声を掛けて頂ければ幸いです。

卒業式・修了式

卒業に際して

情報工学科 宮西由貴

卒業を控えた今、高専での生活を振り返ると、楽しかった思い出が一番に浮かんできます。特にカッターレース大会や球技大会などの学校行事に、仲間と全力で取り組めたことが、一番の思い出になっています。また、苦労したレポートの課題やテスト勉強も、あの時に諦めずにやってよかったと思えます。

4年生になったとき、それまでの勉強が生きてきました。用途が分からなかった公式の使い道が分かるようになり、少し勉強が面白くなりました。私が小学生の頃から抱えていた算数(数学)嫌いを克服できたのは、高専での勉強のおかげです。

この5年間、正直に言うと、高専という道を選んだことを後悔したことも一度や二度ではありませんでした。しかし今は、苦労した分だけいっそうこの学校で学ぶことができ良かったと心から思います。私達を育て、支えてくださった先生方、本当にありがとうございました。在学生の皆さん、何事も思いきり楽しんで、苦労して、悔いのない高専生活を送ってください。



送辞を読む 生徒会長 河原 未来さん

専攻科2年間を終えて

国際ビジネス学専攻 山崎 敦子

専攻科での2年間を振り返ると、様々なことが思い起こされます。国際インターンシップやASET、学会発表などは、大変貴重な体験でした。

また、日々の授業もとても充実したものでした。1年次は国際ビジネス学専攻4名のみで受講する科目が多かったため、自由に先生と意見を交わしながら講義内容の理解に繋げていけました。2年次からは、他専攻の学生と共同でプレゼンをする機会などを通して、1つのテーマについても、より多面的な視点で考えるということが涵養されたように思います。

工学系の多い高専専攻科において、国際ビジネス学専攻は特殊ともいえますが、普通の大学生とは一味違う学生生活を送れたことは間違いありません。私たち4名の進路が本科生のみなさんの参考になれば幸いです。

最後になりますが、7年間の学生生活を通して、お世話になった先生方に対しては、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



校長から修了証書を受け取る 山崎 敦子さん

卒業生・修了生表彰

本校表彰規程によるもの

学業優秀賞
門嶋 祥之 (電子制御工学科)

酒匂 祐太郎 (情報工学科)
渡邊 夏実 (国際流通学科)
青城 篤司 (制御情報システム工学専攻)
澤田 彩水 (国際ビジネス学専攻)

特別賞
土池 遥奈 (国際流通学科)
濱 詩都香 (国際流通学科)

学科から学会等に推薦するもの

日本機械学会 昌山賞
岡野 祐貴 (電子制御工学科)
電子情報通信学会 北陸支部 優秀学生賞
酒匂 祐太郎 (情報工学科)
情報処理学会 北陸支部 優秀学生賞
柏 勇輔 (情報工学科)
映像情報メディア学会 北陸支部 優秀学生賞
三箇 恵里歌 (情報工学科)

北東アジア学会 学生奨励賞 (旧環日本海学会 学生奨励賞)
江部 かな恵 (国際流通学科)
秘書サービス接遇教育学会 学生奨励賞
安田 菜美 (国際流通学科)
南クイーンズランド大学 学生奨励賞
山崎 裕葉 (国際流通学科)
中国東北财经大学 国際漢語文化学院 優秀学生賞
渡邊 夏実 (国際流通学科)
韓国延世大学 校言語教育院 韓国語学室 韓国語能力優秀賞
門 愛莉 (国際流通学科)

ロシアネヴェルスコイ海洋大学 学生奨励賞
高木 直央 (国際流通学科)
Excellent Student Awards
(17th Asian Symposium on Ecotechnology)
澤田 彩水 (国際ビジネス学専攻)
Good Student Awards
(17th Asian Symposium on Ecotechnology)
山崎 敦子 (国際ビジネス学専攻)

からのお知らせ

情報センター案内

● 第3演習室の開設と大判プリンターの更新 (本郷キャンパス)

自習等のために13台のパソコンを設置し、8:30~17:00に利用できます。(第1演習室と第2演習室がともに授業中で利用できない場合等にも使用可能です。)また、研究発表等でのポスター作製のため、B0ノビサイズまで印刷できる大判プリンターが設置されています。(大判プリンター利用に際しては担当の先生の許可を得ることが必要です。)



● 図書館閲覧室内パソコンコーナー (本郷キャンパス)

図書・雑誌等を閲覧しているときに、調査結果の作成やデータベース等の検索を行うような、主に短時間利用のために5台のパソコンが設置してあり、8:30~21:00の間利用できます。(利用に際しては長時間の利用とならないように注意してください。)



● 学生寮パソコン室、無線LAN (本郷キャンパス)

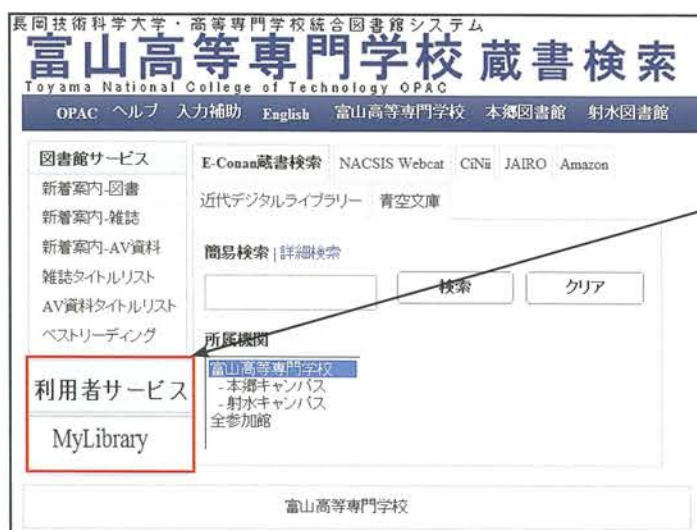
寮生の自学・自習のために1号館には2室:計6台、2号館には3室:計12台のパソコンを設置し、4:00~9:00、15:00~23:30の間に利用できます。また、ノートパソコン等のために無線LANが設置してあります。(無線LANの利用には申請が必要です。)



図書館案内

待望の統合 OPAC (蔵書検索システム) 公開★ 11月28日(月) サービスイン!!

URL: http://libopac-c.nagaokaut.ac.jp/opac/opac_search.cgi?kslist=018&kscode=018&selfcode=018



- 図書館システム更新により、本郷と射水の図書館のOPAC(蔵書検索)が一括してできるようになりました。
- 物流管理機能が付加され、他キャンパスの資料を予約・取り置きすることができます。

MyLibraryについて

従来のリクエストサービスはすべてMyLibraryに収納されています。

教職員の皆さんへ

MyLibraryのご利用は、旧システムで配布いたしましたIDとパスワードでログインしてください。

学生の皆さんへ

MyLibraryのご利用の際は図書館カウンターへお申し込みください。

.....本郷図書館だより.....

11月に本郷キャンパスで開催された高専祭(志峰祭)において「OPAC 検索と借り方の体験」「Webによる貸出中圖書の予約体験」「特別展示:第1回~3回ブックハンティング図書」を実施しました。小雨のなか約40名の十数家族が来館されました。「OPAC 検索と借り方の体験」では小・中学生にコーナーごとに用意した7冊の課題図書を実際にOPAC用パソコンから蔵書検索してもらい、大当たりカードを渡しました。「Webによる貸出中圖書の予約体験」では在校生に図書館システムの利便性を紹介しました。なお、イベント企画・実施にあたりポスター作成や体験企画のサポートなど多数の学生に協力を得ました。この場を借りて謝意を申し上げます。

.....射水図書館だより.....

射水図書館では、9月に学生会との共同企画としてブックハンティングを実施、11月に「おすすめ本」の展示を行いました。「おすすめ本」展示では、ブックハンティングと読書新聞により推薦された図書に、推薦学生の推薦文・読書新聞を添えて展示し、多くの利用がありました。展示後の図書は書架に配架されていますので、どうぞご利用ください。また、8月末に視聴覚資料閲覧用のテレビとDVDプレイヤー、11月に検索用パソコン2台が新しくなりました。文献検索方法などお気軽にお尋ねください。



本郷図書館

開館時間 月曜日~金曜日 8:30から21:00まで
土曜日 10:00から15:00まで
試験期間中の土曜日 10:00から17:00まで
休業期間 8:30から17:00まで
休館日 日曜日・国民の祝日、
休業期間中の土曜日、および年末年始
問合せ先 電話:076-493-5407
FAX:076-493-5407

射水図書館

開館時間 月曜日~金曜日 9:00から19:00まで
土曜日 13:00から17:00まで
試験期間中の土曜日 13:00から17:00まで
休業期間 9:00から17:00まで
休館日 日曜日・国民の祝日、
休業期間中の土曜日、および年末年始
問合せ先 電話:0766-86-5138
FAX:0766-86-5139

詳しくは富山高等専門学校図書館情報センター URL <http://www.nc-toyama.ac.jp/center/02.html> をご覧ください。ここから各図書館のホームページにリンクします。

Graduation Ceremony 2012.3.2

卒業・修了おめでとう 担任からのメッセージ

挑戦を忘れずに

電子制御工学科 石田 弘樹



電子制御工学科20期生のみなさん、卒業おめでとうございます。クラス全員が希望の会社に就職・大学に編入できたことは、嬉しい限りです。担任した2年間、みなさんが進路に悩み、壁を乗り越え精神的に成長していく姿を見てきました。また、友人との関係が悩み、理屈ではない人と人のつながりについて学ぶ姿も見てきました。人生、楽しい事だけなら良いのですが、この先も幾つもの試練が待っています。それを乗り越える「生きる力」は、あなた方に十分に備わっています。恐れず、幾つになっても挑戦する人になって下さい。10年後、20年後、30年後・・・みなさんの活躍を楽しみにしています。

面倒な社会を渡るために

国際流通学科 岡本 勝規



国際流通学科12期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。このあと皆さんは、各々の道を歩まれることとなりますが、これまでと大きく変わることがあります。それは、「問題を自分で見つけて考えなければならなくなる」と言うことです。卒業研究でその一端に触れ、すでに辟易しているかも知れませんが、今後の長い人生ではその局面が繰り返してきます。そして、問題に早く気づいて考えを出せる人間が評価される世の中です。面倒ですがね。気疲れを溜めないためにも、忘れる・避けるが重要ですが、避けられないこともあります。しかし、一人の頭では限界です。そんな時こそ、母校で培った人脈を使って下さい。母校での仲間なら、職場や進学先のしぐらみと関係なく話すことができます。そうやって母校での経験を、社会を渡っていく資源として活用して貰うことが、皆さんに教員として最後に望むことです。今後の皆さんの、大いなる活躍を祈念しております。

熱い情熱を持って

情報工学科 古山 彰一



皆さんは、日本国内だけでなく世界的にも非常に困難が多い状況で、ありとあらゆる事に対して非常に難しい時代に社会に立たされることとなります。大変だと思います。しかし、先日の講演会で「A X Aの山崎先生がおっしゃっていました。「大変な時だからこそ多くのチャンスもある！」5年生になって、皆さんが就職活動や編入学試験を通して自分を見つめ直し、そこで書いたり話したりした将来への抱負はとても崇高で、そしてとても熱いものでした。社会の役に立ちたい、自分の技術で人々を幸せにしたい、そういう思いを数多く目にしました。大変な時だからこそ、そのような熱い思いをもち、そしてそれを実践できる技術者が社会に必要なと思います。君たちのその熱い思いと共に、理想とするエンジニア、研究者を目指してください。君たちのような熱い思いを持った若者がいれば日本もまだまだ大丈夫!そう信じています。最後に、「卒業、本当におめでとう!」

修了を祝して

副専攻科長 篠川 敏行

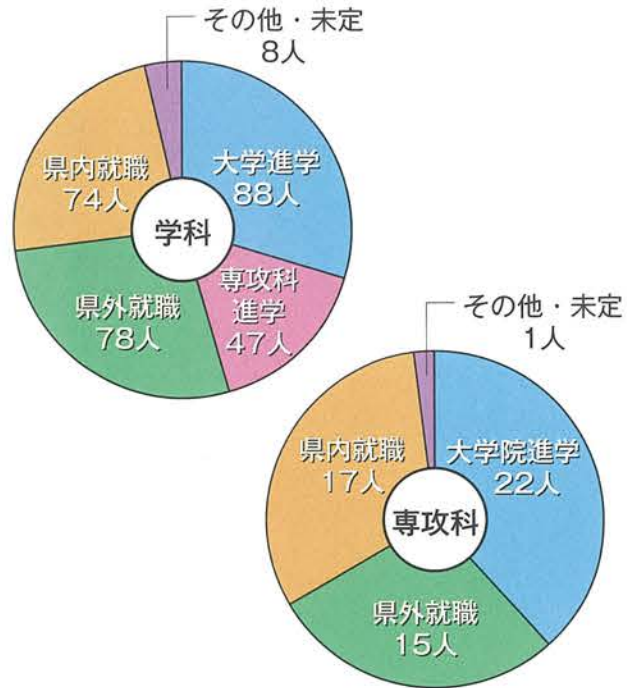


専攻科修了おめでとうございます。国際ビジネス専攻では最初の修了生になります。本科卒業後の2年間はあっという間に過ぎたことでしょう。皆さんの人生には、これから先に何が待っているかわかりません。専攻科を修了した皆さんなら何があっても乗り越えることができます。その対象がどんなことであろうと事の真理を、事実をしっかりと捉えてから、責任をもって自分の考えや意見を述べたり、行動の判断材料にすることが必ずできます。学生時代は、使える時間がたくさんあったと思います。社会に出ると使える時間は限られ、自分で自由に使える時間が少なくなります。しかし、目先に左右されることなく、長い目で見て次のステップのために常に準備を怠らないでください。常に自身を鍛えてください。皆さんの新たな旅立ちに幸あらんことを願います。

開発本部

卒業生・修了生の進路

(平成24年3月16日現在)



平成23年度卒業生・修了生の進学先

(平成24年3月16日現在)

学科卒業生

富山高専専攻科
東北大学 (工)
千葉大学 (工)
東京農工大学 (工)
新潟大学 (法) (経済) (工)
長岡技術科学大学 (工)
山梨大学 (工)
信州大学 (経済) (工)
富山大学 (人文) (経済) (工)
金沢大学 (人間社会) (理工)
岐阜大学 (応用生物科学)
名古屋大学 (工)
豊橋技術科学大学 (工)
三重大学 (生物資源)
滋賀大学 (経済)
大阪大学 (外国語)
神戸大学 (経営)
都留文科大学 (文)
中央大学 (商)
金沢工業大学 (情報フロンティア)
南山大学 (総合政策)
立命館大学 (理工)
関西大学 (商)
金沢リハビリテーションアカデミー
東京アナウンス学院
富山県立総合衛生学院

専攻科修了生

北海道大学大学院
東北大学大学院
福島大学大学院
東京大学大学院
東京工業大学大学院
東京海洋大学大学院
長岡技術科学大学大学院
上越教育大学大学院
富山大学大学院
金沢大学大学院
北陸先端科学技術大学院大学
名古屋大学大学院
名古屋工業大学大学院
豊橋技術科学大学大学院
京都工芸繊維大学大学院
奈良先端科学技術大学院大学
早稲田大学大学院
立命館大学大学院

平成23年度卒業生・修了生の就職先

(平成24年3月16日現在)

学科卒業生

アイシン精機
朝日印刷
旭化成
旭産業
旭タンカー
アステラスファーマテック
アライドマテリアル
アルファシステムズ
出光興産
魚津漁業協同組合
エイチ・アイ・エス
エステンナイン京都
エヌ・ティ・ティ・ネオमित
大岡技研
大塚製薬工場
小沢眼科医院
片山製薬所
川崎汽船
関西電力
共栄製薬工業
京セラ
極東石油
黒川製作所
国際電気セミコンダクターサービス
KYB
サカタインクス
三協
三協立山アルミ
三興コントロール
三晶 MEC
J×日鉱日石タンカー
滋谷工業
秀和海運
商船三井フェリー

専攻科修了生

昭陽汽船
シロウマサイエンス
シンコー
新日本検定協会
セイコーエプソン
第一ファインケミカル
ダイセル化学工業
ダイキン工業
太平洋フェリー
太平洋日本汽船
立山科学グループ
立山酒造
立山電化工業
田中産業
中央エンジニアリング
中部国際空港施設サービス
中部電力
ツムラ
DIC
DMM.com ラボ
東海旅客鉄道
東芝エレベータ
東燃ゼネラル
東レ・テキスタイル
富山化学工業
富山スガキ
トヨタコミュニケーションシステム
トヨタテクニカルディベロップメント
西日本旅客鉄道
日本エレクトロニクスサービス
日本海洋事業
日本ガスライン
日本ゼオン
日本曹達
日本乳化剤

学科卒業生

日本郵船
パナソニックシステムソリューションズジャパン
日立化成工業
日立ビルシステム
ピー・エフ・オートメーション
不二越
富士重工業
富士通
フジテックス
プリモ・ジャパン
北電技術コンサルティング
北電情報システムサービス
北陸銀行
北陸興産
北陸電気工事
北陸電気保安協会
北陸電力
北陸発電工事
本田金属技術
三井製糖
美和ロック
明治薬品
メイテックフィルダース
山崎製パン
ヤマハ発動機
陽進堂
YKK AP
YKK
海上保安庁
外務省
経済産業省
国立国会図書館
富山市消防署
富山市役所
名古屋国税局

専攻科修了生

NHK アイテック
エヌ・ティ・ティ・ネオमित
NTTファシリティーズ関西
KANAYA
コマツNTC
小松製作所
三光合成
シンコー
セイコーエプソン
竹田設計工業
中越合金鋳工
津根精機
テクニカフクイ
東レ・テキスタイル
トヨタテクニカルディベロップメント
日本システムワープ
日本セック
不二越
富士通
富士通関西システムズ
ファインネクス
北星ゴム工業
北電情報システムサービス
北陸化成工業所
北陸銀行
北陸発電工事
三菱電機プラントエンジニアリング
三菱レイヨン
明興工業
陽進堂
航海訓練所

国際教育センター

国際教育センター長 梶 伸 司

本校では、通常の経費に加え、国立高専機構から高専改革推進経費「国際的に活躍する技術者への『ロードマップ』」事業や、日本学生支援機構実施事業「中島記念国際交流財団助成」からの経費交付を受けました。『ロードマップ』事業は、中部地区の10高専が連携した、国際的に活躍する技術者育成のための教育改善の取組です。また、中島記念財団助成は、外国人留学生と日本人との相互理解を促進するための経費です。国際教育センターでは、これらの事業に参画し、各学科・専攻科および各センターと協力して、学生や教職員の国際性の向上や地域の支援、他高専との連携事業を企画・運営・支援しています。

まず、学生の国際性の向上のために、専攻科と共同で、外国人専門家を招聘しての英語での講義や、高学年・専攻科生を対象とした広域 CAST2011 (学生による学生のためのミニ国際会議) を開催しました。

また、海外インターンシップの推進や海外教育機関との学生交流のために、海外の協定校であるハワイや英国北アイルランドのカレッジとの連携を密にしています。一方で、東南アジアとの交流のために、シンガポールのポリテクニクなどの教育機関や東南アジアに進出している日本企業との対話もすすめています。この成果として、平成24年1月から1ヶ月間、シンガポールのテマセク・ポリテクニクからの短期留学を受け入れました。また、外国人留学生と日本人との交流のため、「留学生講演会」(留学生による日本人学生向けの母国紹介) や学園祭における「留学生コーナー」、近隣小学校での小学生や保護者との交流事業などを、担任の方や寮関係各位と共同で運営しました。これらは留学生と日本人との相互理解の貴重な機会となりました。その他に、中部地区高専との国際性教育の研究会の開催や、教職員向けの英語論文作成講座の開講など、教職員の国際性教育能力の向上にも取り組んでいます。



高専祭(11月4日～5日)の留学生コーナー
「Let's Walk Through Asia - Experience it Yourself」

専攻科戦略室

専攻科戦略室長 成瀬 喜 則

専攻科の魅力をもとめるために

富山高専には、本科で5年間勉強した後、さらに研究を深めたいと考えている学生諸君のために専攻科が設置されています。この専攻科をより良いものにするための取り組みを企画し、学生を支援するために専攻科戦略室が設置されています。

現在、いくつかの大きなテーマを掲げて活動しています。たとえば、専攻科生の研究レベルを上げるために、韓国や中国の大学と共同研究を進めることができるような体制を作ったり、外国人講師に英語で専門科目の授業をお願いしたりするなど、グローバルな専攻科を目指しています。

また、東海北陸地区には8校の国立高専がありますが、共同で学生の研究能力を高めるための研修会を開いています。

さらに、専攻科の知名度を上げるために、企業向けのPRも行っています。先日も、富山県内の企業の方を対象にして、専攻科生が自分の研究を説明するポスターセッションを開きました。

専攻科は、本科から先生の指導が受けることができ、継続したテーマで研究をすることができる大変メリットの高いところ。専攻科戦略室では、今後も専攻科の学生がより高いレベルの研究ができるように支援をしていきたいと思っています。

技術科学大学連携室

技術科学大学連携室長 井上 誠

長岡技術科学大学・アドバンストコースについて

本年度から長岡技術科学大学と協働で、戦略的技術者育成アドバンストコース事業を開始しています。本校を含め6高専のみが参加しているパイロット事業で、<国際的リーダーシップ性>、<専門の複眼性>、<技術経営の戦略性>の観点で、世界の産業界をリードする技術者を目指しています。科目は、高専と長岡技科大で協働で行う協働科目、高専在学中に長岡技科大の科目を先取りできる先導科目があります。

本年度、本校では、協働科目として<国際的リーダーシップ性>科目の「英語プレゼン」を開講しました。4・5年生、両キャンパス全学科対象で、5月から7月のTVを使った2キャンパスでの講義(毎週)および夏休みの1か所での集中講義のスケジュールで行いました。受講した学生は射水12人、本郷6人で、最後のプレゼンでは英語で質疑応答を行うまでになりました。

先導科目は夏季休業中に長岡技科大で、<専門の複眼性>科目の「集中セミナー/集中ラボ演習」、<技術経営の戦略性>科目の「先端技術講座/先端技術演習」が開講され、射水3人、本郷2人の学生が受講しました。長岡技科大の先生方や他の高専の学生との交流も行うことができたと思います。

地域イノベーションセンター

地域イノベーションセンター長 西田 均

このセンターは地域産業界の技術的要望に応えることを主目的としており、このために企業との共同研究や技術相談、学内研究支援、共同研究・外部資金獲得支援、技術振興会業務、そして、知的財産の評価と活用などの業務を行っています。また、東海北陸地区高専の広域拠点としての連携活動を推進しています。

教員の共同研究は年々増加しており、平成22年度は43件となっており、件数では全国の高専の中でもトップクラスです。多くの共同研究に研究室の学生が関わっており、学生は実際的な研究課題に取り組んでいます。研究支援については研究経費支援とグリーンイノベーションに関わる研究支援を行っています。グリーンイノベーション関係では研究会の開催と関連研究支援を行っています。研究会はこれまでに4回開催しています。この研究会の目的はグリーンイノベーションに対する新たな技術開発体制の提供であり、事業化を目指した分科会の設立に結び付くように企画しています。現在、この研究会は教員の研究紹介、研究室見学などを中心に進めており、第4回研究会では学外から51名の参加者がありました。共同研究・外部資金獲得支援では各種展示会などにおいて教員の研究紹介を積極的に行っています。知的財産関係では特許出願審査や教員や学生などに対して知財研修を行っています。特許の出願件数は年々増加しており、平成22年度は7件の出願となっています。東海北陸地区高専との連携については、展示会に合同で出展することや各高専の所有する特許のWeb上での合同紹介を進めています。また、産業界に貢献できる新たな連携活動を計画しています。

高専の教員の多くが学生と一緒に研究活動を行っており、学生は共同研究や研究会活動に参加しています。学生は社会から要求される課題を研究することで、実践的な創造力が身に付けられると考えられます。当センターの事業が学生の実践的技術力向上と地域産業界に貢献できることを期待しています。



第4回グリーンイノベーション研究会
(10月6日開催、参加者91名)

教育技術センター

教育技術センター長 山腰 等

本センターでは、地域の自治体や企業、学校などと連携をはかり、学校と地域がともに責任を持って取り組むことで、地域の人材育成を行っています。具体的には、小中学生を対象とした公開講座、企業人を対象とした企業人材育成プログラム、一般の地域の皆さんを対象とした出前授業など、様々な形での連携を行っています。

また、学生がより主体的に学ぶことができるような新しい教育手法や、これからの人材に必要な知識やスキルを身につけるための新しい視点を、本校の教育に積極的に取り入れています。例えば、工学系1年生におけるものづくり基礎工学実験では、工学系4学科と国際ビジネス学科、商船学科の全6学科の授業・実験実習を体験できるプログラムを作成し、学生にチームワーク、コミュニケーション能力、行動する能力などの人間力の重要性に気づかせる教育を実践しています。

現在わが国では将来に向け、環境・経済・社会の三つが調和して発展し持続していくための智恵が求められています。そのような社会づくりを担うためには、幅広い視野を持つことが不可欠と考え、本センターでは毎年、中国・内モンゴル自治区での研修を実施しています。今年度は7名の参加があり、夏休み中8日間の実習を通して、これからの社会づくりに貢献できる技術者を育成しています。

本センターでは、自分をふりかえり将来を見据えるキャリア教育にも積極的に取り組んでいます。ホームルームの時間を利用した低学年からのキャリア教育のほか、今年度は、本校技術振興会会員企業にご協力いただき企業研究会を開催いたしました。約30社の企業ブースに両キャンパス合わせて150名以上の学生が集まり、直接企業の方々からお話をお聞きすることで「働くこと」について学び、学生のキャリア意識の向上に大いに貢献しました。



企業研究会
(10月22日開催、参加企業27社、参加者167名)

就職活動を終えて

エコデザイン工学専攻 機械・電気システム工学コース
武田 祐也



学校を卒業した後は就職するだろうと、漠然とした将来像しか見えてなかった私は就職活動を前に億劫になっていました。何から始めたらいいのかわかりませんでしたが、先輩や先生へ相談することでなんとか就職活動の第一歩を踏み出すことができました。人に頼るのも自主性に欠けるので合同セミナーに応募しました。有名企業へ急いで向かい、何度も質問しましたが、どうにも充足感を得られませんでした。そこで、聞いたことのない設計会社へ行くと「設計って何をやるの」、「設計者って何」と逆に質問され、困惑してしまいました。さらには、「続きは会社のセミナーで」と、際どい引き。その企業の方が口達者だったからどうだとか言うのではなく、ここで初めて自分がしたい仕事について真剣に考えたことが重要でした。どんな仕事か安直な理由で決めていないか、何度も考え直すほど慎重でなければならなりません。悩んで、失敗を重ね、内定が決まったときに少し社会人へ近づけた気がしました。

進路の選択

エコデザイン工学専攻 機能材料工学コース
谷島 清哉



心配性で優柔不断な私にとって、専攻科修了後の進路の選択はとても難しいものでした。本科および専攻科で様々なことを学んでいくにつれ、私の目標である研究者になるために、大学院へ進学したいという気持ちが徐々に強くなっていきました。しかし、両親が私に就職を望んでいること、さらに、徐々に就職難になってきていることを踏まえると、就職を選択するべきではないのかと考えている自分がそこにいました。

自分の夢を選ぶのか、それとも両親の思いを選ぶのか。結局、悩んだ末、私は自分の気持ちを抑えきれず、大学院への進学を選びました。両親の反対を押し切ったこと、今後も経済的な負担をかけることを考えると、本当に進学を選択したことが良かったのだろうかと思ってしまう時もあります。しかし、もう後戻りはできません。目標を達成し、両親やお世話になった先生方が自慢できるような研究者になれるよう、より一層努力していきたいと思っています。

幅広い業界を視野に入れて

制御情報システム工学専攻
境 祥平



私の就職活動がうまくいった秘訣は、業界を絞らなかつたことにあります。

そもそも技術系の学生は自分の専門と直結する業界に入社したい、と考える傾向があります。それゆえに一部の業界で競争が激しくなります。リーマンショック以降、新卒の採用数が減少している中、どうすれば内定をもらえるか？そこで、私はあえて業界を絞っていませんでした。自分の専門と直接関わりがないように見える企業でも、実際は様々な専門の技術者を必要としています。そのような企業ほど、技術者を大事にしてくれるだろうと私は考えました。私がこれらのことを意識しながら就職活動をしてきた結果、今年5月に内々定を頂くことができました。

幅広い業界を視野に入れた就職活動を通じて、自分のやりたい仕事が発見でき、技術系の学生が様々な分野で必要とされていることを実感しました。自分のやりたい仕事が見つかることで夢も膨らみ、面接でも力強くアピールできます。皆さんも自分の進路についてしっかり考え、満足のいく就職活動をしてください。

どの人生を歩むか、常に考えること

国際ビジネス学専攻
南 佳苗



私が就職活動で感じたことは、高い意識を持って日々を過ごすことの重要性です。就職活動は人生設計です。人生設計は一朝一夕で考えつくものではありません。自分は何者か、人生でやりたいことは何か、理想のライフ・プランは何か、描いたライフ・プランはどうすれば実現できるか、それは就職活動に限らず常に把握しておく必要があります。

就職活動では、卒業研究や特別研究における企業調査のため企業へ訪問させていただいた経験が役立ちました。就職活動を始める前に企業と自分を照らし合わせて考える時間があつたことで、自分がどんな企業で働きたいかを具体的にイメージすることが出来ました。

就職活動が始まって仕方なく自己分析や企業研究をするのではなく、就職活動が始まる前から自分・企業・人生に関心を持ち生活することで、学生としても就職活動生としても充実した時間を過ごすことが出来ると思います。今後も、自分の人生を常に考えていきたいと思っています。

第3回 高専祭 (志峰祭)

かけがえのない日々

高専祭実行委員長 機械工学科4年
長田 峻也

私はこの富山高等専門学校に入学した時からひとつの目標をもっていました。目標と言うには曖昧な内容かもしれませんが、私はこの高専で「皆の記憶に残るような大きな事をしたい」と思っていました。その目標を達成するために私は、2011年の春、高専祭の実行委員長に立候補しました。

最初は幹部やスタッフの募集から始まり、時間が流れるたびにどんどん仕事が増えてきて、時には肉体労働であったり、時には精神を削るような作業であったり、とても辛いと感じた時期もありました。

しかし、その度に仲間と助け合い、励まし合い、バカをやったり言い争ったりもしましたが、なんとか力を合わせて乗り越えてきました。

当日はあいにくの天候で、それによるトラブルなどもたくさんありましたが、それを踏まえても、私はとてもよい学園祭になったと思います。「成功」の定義なんて曖昧なものですが、学生をはじめ、たくさんの人の笑顔を見ることができたので、私は成功したと確信しています。

今回の学園祭の開催にあたり協力して下さった14人の幹部、大勢のスタッフ、先生方、企業の方々には心から感謝をしています。本当にありがとうございました。

私はこの平成23年度の高専祭実行委員長になれたことを、皆と作り上げたこのかけがえのない日々を、心から誇りに思います。



鉄道部



メカテック部



一般教養科化学企画「暗闇でひかる」



技術室企画 ガラスフェーシング



留学生コーナー

2011

和海寮

学寮会長の仕事

射水キャンパス 学寮会長 商船学科4年

安村 泰生

学寮会長になってから早くも半年が経ちます。まだ半年でこう言うのもおこがましいのですが、新たな取り組み、公約の実行という面では、過去3年で最も成果を出すことができたという自負があります。

私の就任時の目標は正直「現状維持」でした。しかし、1つ目の仕事であった沼津高専研修で、和海寮にはまだまだ改善点が沢山あると強く感じました。そこで、現時点での「日本一の寮」から得てきたものを参考に、あらゆることの提案・計画・実行を進めて

きました。すでに実行した代表的なことは、1年生の学習会、学寮会組織の改訂、公約の実行等です。まだ幾つかの計画・案が実行されておらず、隠れた目標である「男女関係なく挨拶のできる寮」も今一步ではありません。残り半年で私が一番疑問に思っていた「先輩が挨拶をしても先輩は無言」という風潮(男子のみ?)も改善しつつ、少しでも和海寮を自慢できる寮に変えていきたいと思っています。



沼津高専研修



5年生お別れ会

寮生会幹部交流会に参加して

本郷キャンパス 学寮総代 電気工学科4年

岡田 一樹

11月19日(土)、20日(日)に高専間の寮の交流会がありました。この交流会は毎年、寮生の代表が県外の高専の寮を訪れ、その寮生会活動や寮生活について学ぶとともに寮生間の交流を図ることを目的としたものです。今回は長野高専を訪れました。

長野高専には男子寮の雄風寮、女子寮の清風寮があり、寮生数は男子380名、女子50名で、全校の約4割強を占めています。寮内はきれいで、自分たちの寮よりも大きな規模で驚きました。行事も寮祭などがあり、楽しそうな寮でした。

交流会では、寮内の規則などについて話し合いました。そこで感じたことは、下級生の指導法の違いです。富山高専の仰岳寮は1学年30人程度と人数が少ないので、他校の寮に比べると指導はやり易いことが分かりました。そして、仰岳寮で行っている指導法の中には、長野高専・雄風寮では行いにくい場合もあるということが分かりました。また、雄風寮で行われている指導法も聞いて、それぞれの寮の特徴があるのだと感じました。

今回の交流会では長野高専の寮を訪れ、様々な意見交換を通して、学んだことがたくさんありました。その学んだことを今後の仰岳寮の寮生会活動に活かしていきたいと思いました。



高専祭・前夜祭



仮装行列



長野高専との交流会



The Best さいこう にせんまいけ !!

(2011.11.5~6)



電気工学科4年模擬店



ステージ企画「先生格付け」



弦楽同好会



フリースタイルダンス同好会

演劇部の志峰祭公演

情報工学科3年

古谷 舞

新生富山高専の学校祭は、今年度で3年目です。演劇部は両キャンパスの架け橋になりたいと考え、一昨年度の志峰祭、昨年度の北斗祭、今年度の志峰祭と上演を続けています。高校の県大会では2年連続入賞しましたが、5年生まで全員で出演できるのは学校祭だけなので、今回の上演は特に張りきって臨みました。

今回上演した劇は「祝儀誘誘一震度ゼロー」です。タイトルからわかるように、東日本大震災に触発された劇です。「震災に被災したことがなく、平和に過ごすことができる私たちにできることは何か」ということを、お客さんと一緒に考えたくて創り上げました。今回は演出やセットも志峰祭にあわせ、お客さんに楽しんでいただけるよう工夫しました。演劇にできることは限られていますが、1人でも多くのお客さんの心に残る上演であったなら、うれしく思います。



演劇部

ロボットコンテスト

ロボコンを通して

機械工学科3年 朝日康平

今年は、ディフェンスロボットとオフェンスロボットの二つを作り、アメフトボールのパスを通す速さを競うルールでした。3、4年生中心のAチームは、ボールを捕球した直後にロングパスをする戦法を選びました。

確実に早く撃つための機構を考えるため、相手の防御ロボットを考慮する必要がなく、撃てば必ずパスを通すことができるレール型カタパルトをつけることになりました。実習工場の方々に手伝っていただきながら、試行錯誤の末、2mの長さのレールからボールを発射し10.5m先の人に正確に発射できる耐久性を備えた発射機構を作り上げることが出来ました。

大会当日1回戦はシード、2回戦は先攻で試合が始まりました。二足の調子が悪く、少し出遅れてしまいましたが、捕球から発射の流れは完璧で、5機ほどある防御ロボットをものともせず、見事にタッチダウンすることが出来ました。後攻でも、防御ロボットは相手チームのボールを弾いていましたが、一瞬の隙を突かれ、先にタッチダウンを許してしまいました。

完成度が非常に高く、観客や他のチームから称賛されたマシンでありながら、またしても全国行きを逃してしまい悔しいです。支えて下さった先生方や先輩方、本当にありがとうございました。



富山の美味しい機巧塔

高専ロボコンに参加して

電気制御システム工学科2年 辻信太郎

全員が2年生のBチームは、オフェンスロボットを4.5m先のスローゾーンまで二足歩行をし、そこからさらにキャッチャーに向かって5m近づきパスを通そうと考えました。

歩行機構に必要な精度の高い部品を作り、設計を改善していく作業は、メンバー全員にとって初めての経験だったため、改善策を思いつくまで時間がかかり、なかなか思いどおりにロボットを作ることができませんでした。

しかし、先輩や先生方、工場の皆さんのアドバイスのおかげで、考えていたオフェンスロボットの動きが少しずつですが出来るようになりました。が十分にロボットの動きを試す時間が取れないまま大会前日を迎え、テストランの間にロボットの動きを再確認し調整を施す必要がありました。さらに、ロボットの方向を変えるために必要なターンテーブルの動作の調整にも追われました。

本番では、ディフェンスロボットが相手のオフェンスロボットから射出されたパスを二つとも止めることができ、攻守交代を迎えましたが、オフェンスロボットの二足歩行の方向転換が上手くいかず、スローゾーンに入ったところでタイムアップを迎えてしまいました。今回の大会をしっかりと振り返り、次の大会ではもっと勝てるロボットを作りたいです。



マジック・ハント

ンシ ッ プ

インターンシップに参加して

商船学科4年 石川 岬



私は夏期休暇を使って新日本海フェリー株式会社インターンシップ体験に行きました。実習では実際に小樽、舞鶴間を就航中であるカーフェリー「あかしあ」に乗船して9日間船内で行い、各部署(甲板部、機関部、船客部)での職務の紹介、航海計器や機関、客室、職務風景の見学、航行する上で必要となる様々な事項を教えてくださいました。また、「あかしあ」船内では航海士の一日のスケジュールとほぼ同じように船客がいる船内で過ごしていた為、インターンシップで来た学生というよりは、船員の一人として過ごしているという気分でした。

私はこのインターンシップを通して、学校内の座学だけでは学ぶことのできない様々な事を学ぶことができ、同時に今の自分に何が足りていないのかをしっかりと確認することが出来ました。このインターンシップで学んだことを、自分の将来の夢である内航船の船員を目指すための糧として、学業に励んでいきたいと思えます。

貴重な体験をしたインターンシップ

電子制御工学科第4年 松林 貴晶



私たちはコマツキャストックス株式会社で5日間にわたりインターンシップの実習を行いました。実習内容はおもに工場の説明および見学、機械科実習、鋳造実習などでした。その中でも特に心に残ったのは鋳造実習です。

鋳造実習では、昔ながらの手作業の造型作業を行いました。この実習を通して1番良い経験となったのは、最初から最後まで全て手作業で造型を行ったことです。手作業は力も技術も精神力も必要だということを知ることができました。作業の途中では疲れてしまうこともありましたが、最後に完成した時の達成感や手作業だから得られるものだと感じました。物作りは正確にかつ迅速に行うことが大切なので作業のスピードが少し遅かったことが反省点ですが、楽しんで作業することができました。

今回のインターンシップは5日間という短い期間でしたが、学校ではできない様々なことを体験することができました。これを今後の就職活動にも生かしていきたいと思えます。

インターンシップで学んだこと

情報工学科4年 姫野 吏絵子



私は、富山県庁と豊橋技術科学大学で、インターンシップの研修をさせていただきました。富山県庁では、執務補助とセミナー等の県内企業向けのイベント開催補助をしました。県内企業やセミナーに関する単語でわからないものが多く戸惑いましたが、職員の方に教えていただきながら県庁内の執務を体験することができました。また、相手に伝わるように例を挙げ、丁寧に説明することの大切さを富山県庁で学びました。

豊橋技術科学大学は、「データマイニングの基礎実験」という実習テーマに惹かれて参加しました。こちらでは、講義と実習を半分ずつ取り入れて進めており、少人数だったため理解度を確認しながら進めてくださったので大変学習しやすい環境でした。最後のレポート作成では、無駄なところや問題点を指摘していただき、今後のレポート作成に役立つポイントを教えてくださいました。

国際インターンシップを終えて

国際ビジネス学専攻1年 八田 宗太



今年の夏(8月18日から9月14日)に私は北アイルランドへ国際インターンシップに行ってきました。滞在先はBangorで、研修はSERCという大学で行いました。第1週目と2週目はSERCで英語の講義を受け、3週目に企業を訪問させていただきました。訪問した企業はDENMANというヘアブラシを主に製造している会社と、3Mのマスキングテープ工場でした。それぞれの企業を2日間、計4日間という短い訪問ではありましたが、私は次のようなことを学び、考えることができました。それは、(1)何事も最終的には「人」が判断をするため、「人」の教育が重要であること、(2)企業の人々が予想もしていない事態(機械の故障、クレームなど)が起きた場合でも、柔軟に、そして迅速な対応が求められること、(3)ある程度の意思決定権を与えることで、仕事に対するやりがいや生まれること、の3つです。また、週末にはさまざまな場所を訪れることができ、北アイルランドの文化や歴史を知ることができ、充実した1か月間を過ごすことができました。

インターンシップの貴重な体験

機械工学科4年 野田 尚人



神鋼テクノ株式会社は神戸製鋼グループの設計部門を受け持つ会社であり、CAD製図や手書き製図などによる設計に関する実習を5日間行いました。手書き製図では立体イメージ能力を高め、製図の本質を見抜くことが大切だと感じました。

5日間という短い期間で自分は大きく成長できたと実感しています。それは、指導頂いた製図の技術的な要素以外に、会社の一員として責任を持って設計作業を行う実習であったので、技術者としての心構えといった精神面の成長が大きいと思います。手書き製図などは時間がかかるので実習は大変でしたが、それ以上に、社員の方々の話や指導から、自分の知らなかった社会でのマナーを学び、製図の技術を身につけ、自分の性格や将来したい仕事などに気づけたことは大きな収穫です。また、実際に働くことは半可なものでないことも実感しました。

今後、仕事のできる社会人となれるように、インターンシップで得た貴重な経験を生かしていきたいです。

ユニゾンで学んだこと

エコデザイン工学専攻

機械・電気システム工学コース1年 藤村 佳輝



私はめっき加工を行うユニゾンで2週間インターンシップを体験しました。

ユニゾンには作業効率のよい機械加工工場の他に、手作業でめっき加工を行う工場があります。これはめっき加工の原理や手順などの知識を習得するために設けられたもので、めっき加工の知識がないまま業務を行うことを問題ととらえているそうです。そのため、新入社員の方はめっきの知識を定期的にテストで確認するなど、普段の業務以外にも会社に入ってから学ぶことがあり、その事項の多さに驚きました。

また、従業員の方との会話の中で、皆さんが自分の仕事にどれだけの責任を持って取り組んでいるかを知ることができました。自分のミスで会社に数百万円単位の損害を与えてしまうことがあることを聞いて、仕事を任せられることの責任を感じました。

このインターンシップで、現場で働くことの大変さや責任など普段経験することができない非常に良い経験ができたと思います。

インターンシップを終えて

物質工学科4年 中森 舞



7月25日からの2週間、私は株式会社カネカにてインターンシップを行いました。私は卒業後に就職を考えており、社会人のイメージを持ちたいと思い、企業での実習に参加しました。

この実習中、私が配属されたのは電子材料開発研究グループでした。そこでフレキシブルディスプレイ用のプラスチック基板の開発をテーマとして、薄膜フィルムに関する基本的な研究に携わりました。フィルムの製膜からその特性評価までの一連の作業は基本的な作業の繰り返しであることに驚きましたが、指導していただいた研究員を含め会社で働いている社員全員の目的意識は高く、社会人の凄さを肌で感じました。同時に新製品を開発するものづくりにやりがいを感じることができました。

実習を終えて、向上心を持つことや意識を高く保つことが社会人としてやっていくためには大切だと痛感しました。また、この経験を今後の就職活動に生かしたいと思いました。

2011年度内モンゴルESD研修に参加して

環境材料工学科4年 有岡 優希



私は8/7～8/14の日程で「内モンゴルESD研修2011」に参加しました。なかなか訪れることのできない地域や企業で体験的に学べるチャンスだと思い、今回の研修への参加を決めました。

中国の大連市、錦州市、内モンゴル自治区での研修を通して、著しい経済発展で先進国と肩を並べるまでに急成長を遂げている表の面と、砂漠化などの環境問題を始めとする様々な社会問題を抱えた裏の面を見ることが出来ました。特にホルチン砂漠では初めて見る砂漠に感動しながらも、130年前は草原や川で遊牧民や漁師が生活していた土地が、地平線の向こうまで続く砂漠となってしまう、それが現実に存在することを知りショックを受けました。また、企業訪問を通して産業に対する考え方の違いを知り、ホームステイでは砂漠化による生活への影響など現地の方々の生の声を聞くことが出来ました。

様々な体験や出会いを通して得たものはとても多く、今後の私の人生に大きな影響を与えることになりそうです。

4年間の集大成 高専ロボコン2011 東海北陸地区大会に参加して

商船学科 機関コース4年 四柳 和也

2011年の高専ロボコンのテーマは「ロボ・ボウル」でした。今年度のルールは二足歩行のオフenseロボットが高専生からラグビーボールを受け取り、相手のディフェンスロボットをかいくぐり、仲間の高専生にラグビーボールを渡すまでの時間を競うものでした。

私はAチームのリーダーとして参加しました。ルールが発表されてから地区大会までの日程を出して、スケジュールを組んで計画的にいろいろと決めていました。しかし、設計が遅れ、実際ロボットの各々ができてからも調整に時間がかかり、大会までに満足いくロボットができませんでした。大会では残念ながら一回戦敗退という結果に終わってしまいましたが、オフenseロボットのラグビーボールを飛ばす機構が評価され、特別賞(本田技研工業株式会社)を頂くことが出来ました。

休みの日も返上して、部員一丸となって取り組んだ結果が特別賞という結果に結びついたことを本当に嬉しく思います。ロボットが動いてくれず何度も調整を繰り返したり、設計がうまくいかず悩んだ日々もありましたが、4年間ロボコンをやって来て、先輩方や後輩たちと試行錯誤を繰り返してロボットを作ったことは何事にも代えがたい経験になりました。

高専ロボコンに参加して

電子制御工学科5年 竹内 俊博

今年のロボコンのテーマは「ロボ・ボウル」で、二足歩行のオフenseロボットと移動方法を問わないディフェンスロボットを製作し、オフenseロボットはボールをスローワーから受け取りレシーバーへタッチダウンを目指して投球し、ディフェンスロボットはそれを阻止するというものでした。

そこで、私たちは他のチームとは変わった機構を使おうと思い、オフenseロボットでは人間の腕の関節を模した投球機構を、ディフェンスロボットでは4つのホイールがそれぞれ独立した動きをする4WD4WSの機構を製作しました。

私たちのチームは、ロボコン経験者がほとんどいなかったため設計での問題点の発生や、製作におけるミスなどありましたが、その問題を解決するため連日深夜までチームメイト一丸となって取り組んだこともありました。

大会では活躍することは叶いませんでしたが、この5ヶ月間のロボット製作での思い出は、ロボットコンテストに参加してよかったと思えるものでした。最後に遠方にも関わらず大会に応援に来て下さった方々、ロボット製作において技術的な面での指導して下さった先生と工場の職員の方々には心から御礼申し上げます。



鬼機怪械



トレビュショット

県外工

県外工場見学を終えて

機械工学科4年 岡本 将 征

私たち4年機械工学科は、トヨタ自動車株式会社、新日本製鐵株式会社、日本車輛製造株式会社、朝日新聞社、京セラ株式会社の5社の工場を見学しました。どの企業も日本を代表する企業で、会社の歴史や最新の技術がありました。

トヨタ自動車では、生産機械の性能の凄さに驚きました。溶接行程では、ほぼ全ての作業をロボットが行っていました。ロボット溶接は機械工作実習で学んだことがありますが、約40台のロボットが一斉に上下左右にくねくねと動き回りながら、ボディの至る所を短時間で溶接している光景は、どこか未来空間にきたように感じられました。

一方、日本車輛製造では、多くの行程が手作業で行われていました。これは、新幹線や電車は多種少量生産であるため、手作業の方が対応しやすく、生産効率が高いことを学びました。

今回の工場見学では、下調べを行って質問したいことをまとめていたので、見学中や質疑応答の時間で多くのことを学べました。そして高専で学んでいることが実際の工場で見学されているのを自分の目で見ることができ、何気なく受けていた授業に対する態度を見直す機会になったと思います。また、あまり遊ばなかった友達と一緒に行動し、多くの話もすることができるなど、有意義な活動ができたと思います。

県外工場見学

電気工学科4年 増山 陽 太

見学初日は、核融合科学研究所の見学でした。核融合は原子核内のエネルギーの取出し方の1つですが、それは、ウラン等の重金属とは完全に無縁、海水中の水素を燃料にする、既存原発とは全く違うものでした。「地上に太陽を作る」とおっしゃっていたのが印象深いです。所内見学では、ジュール熱の回避など、電気工学の研究成果も拝見でき、面白かったです。

二日目は、トヨタの元町工場と、関連企業を訪問しました。



機械工学科



電気工学科

驚いたのは、工場合理化の徹底です。例えば、元町工場では、部品発注での原則「Just in Time」や不良をその場で修正する「自動化」など、関連企業・小島プレスとの工場では、中間在庫を減らすための生産ライン自体の製作や作業員からの合理化アイデアの募集などです。

三日目は、高い発電効率で有名な、新名古屋火力発電所を訪ね、発電機を見せてもらい、CC方式を勉強しました。少しでも多い電力を燃料から得る火力発電の革新は、CO₂の削減にも繋がる重要な技術だと思うので、その最先端の見学ができて嬉しかったです。

最終日は、名古屋市科学館へ行きました。小学生が多いためか、目で分かる実験が多く、教科書ではイメージしづらい物理現象も直観で捉えられる場所になっていました。高専生も行く価値充分、難しい文や数式で説明された現象の本来の姿が見られるはずですよ。

県外工場見学を終えて

物質工学科4年 村上 拳 冬

本年度、物質工学科では、エーザイ株式会社、味の素株式会社、サントリー、株式会社カネカの4社の工場を見学しました。

最初に見学したエーザイの川島工園では医薬品の製造ラインや工場内の物品の運搬等が機械化されており、効率的かつ清潔な工場でした。食品工場である味の素ではうま味調味料の製造現場を見学した後、うま味の官能試験を体験しました。

サントリーでは飲料の製造から出荷までの一連の工程を見学できました。特に発酵槽を覗くことができ、発酵の様子を確認できたことが印象的でした。

最後に見学した化学メーカーであるカネカでは社会のニーズに応じた製品を製造しており、製造現場の空調などが生産管理徹底されているところが印象に残りました。

今回の工場見学を通して、自分自身が学習した知識が多く利用されていると感じました。また、将来の自分をイメージするために実際の現場を見学できたことは何よりの収穫でした。



物質工学科



環境材料工学科

後期クラブ活動成績

H23.11.13 飛騨杯卓球大会 卓球 男子団体 第3位 富山高専 A (本郷)	H23.11.20 第64回富山県高等学校秋季相撲選手権大会 個人 1学年 優勝 機械システム工学科1年 大江 悠司	H23.11.20 第37回富山県高等学校秋季園芸大会 園芸・将棋 優勝 機械システム工学科2年 森 菜都未 準優勝 電気制御システム工学科1年 草野 優太 優勝 電気制御システム工学科2年 松浦 大
H23.10.1 富山県高等学校秋季卓球選手権大会富山地区予選会 卓球 男子シングルス 第2位 機械システム工学科2年 大野 友也	H23.10.2 富山県高校新人水泳競技大会 水泳 競泳男子総合 第3位 富山高専本部 男子50m自由形 第2位 電気制御システム工学科1年 佐伯 勇弥 男子100m自由形 第3位 電気制御システム工学科1年 佐伯 勇弥 男子50m背泳ぎ 第2位 機械システム工学科1年 深山 宏樹 男子200mリレー 第3位 富山高専本部 (佐伯、坂本、金、深山) 男子200mメドレーリレー 第3位 富山高専本部 (川口、竹原、佐伯、深山)	H23.11.23 第9回北陸地区高等専門学校剣道新人大会 剣道 女子個人 第3位 国際ビジネス学科2年 新家 奈津希
H23.10.22 第16回北信越高等学校新人陸上競技大会 陸上競技 女子100m 第5位 国際ビジネス学科2年 杉本 有希 女子200m 第5位 国際ビジネス学科2年 杉本 有希 ハンマー投 第2位 電子情報工学科2年 井口 佳祐	H23.10.23 第26回富山県相撲選手権大会 高校生の部 中量級 第2位 機械システム工学科1年 大江 悠司	H23.12.18 第27回北信越高等学校園芸選手権大会第6回全国高校園芸選抜大会北信越予選 園芸・将棋 女子の部 第3位 電気制御システム工学科1年 森 菜都未
H23.10.30 アイディア対決全国高等専門学校ロボットコンテスト2011 東海北陸地区大会 メカトロ技術研究 (射水) 特別賞	H23.11.3 第38回北陸地区高等専門学校柔道新人大会 柔道 男子団体の部 優勝 富山高専本部 男子個人の部 優勝 富山高専本部 射水 男子個人の部 第3位 富山高専本部 射水 男子個人の部 第2位 富山高専本部 射水 女子個人の部 第3位 富山高専本部 射水 女子個人の部 優勝 富山高専本部 射水 女子個人の部 第2位 富山高専本部 射水 女子個人の部 第3位 富山高専本部 射水	H23.12.25 第3回富山市団体卓球大会 卓球 オープンの部 第3位 富山高専 (本郷) A
H23.11.5 第42回富山県高等学校将棋選手権大会 園芸・将棋 男子個人戦 第5位 坂本 翔太 女子個人戦 優勝 森 菜都未 女子個人戦 第2位 藤川 桂実 段位認定戦 第1位 機械システム工学科2年 森 菜都未	H23.11.6 第42回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会北陸地区大会 ラグビー 優勝 富山高専本部 射水	H24.1.22 とやま科学オリンピック2011 高校部門化学分野 銅賞 物質化学工学科2年 河西 祐太 銅賞 物質化学工学科2年 尾崎 俊太郎 物質化学工学科2年 尾崎 俊太郎 物質化学工学科2年 尾崎 俊太郎
H23.11.6 第42回富山県高等学校秋季卓球選手権大会 卓球 男子シングルス 第3位 機械システム工学科2年 大野 友也	H23.11.6 第42回富山県高等学校秋季卓球選手権大会 卓球 男子シングルス 第3位 機械システム工学科2年 大野 友也	H24.1.24 平成23年度富山県高等学校体育連盟表彰 (体育活動功績) コッパ 電子制御工学科3年 山岸 聖弥 高専科3年 山岸 聖弥 物質工学科3年 八土 昌宏 環境材料工学科3年 堀田 謙吾
		H24.2.7 第58回富山県高校新聞コンクール 新聞 (射水) 優秀賞、コラム賞、速報賞

2011富山高等専門学校講演会

12月16日(金) オーバード・ホールにて、本校と本郷・射水の両キャンパス後援会による講演会が催されました。宇宙航空研究開発機構(JAXA)の月・惑星探査プログラムグループ プログラムディレクター 國中均教授による「イオンエンジンが拓く宇宙探査」、はやぶさカプセル回収隊 国際調整担当 山崎秀人主査による「はやぶさプロジェクトからのLessons Learned -プロジェクトから学んだこと-」の2つの講演で、昨年6月に地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」のミッションに関わる貴重なお話を聞くことができました。講演終了後には、活発な質問もなされ、学生の興味関心の高さが印象的でした。今後の就職や進学などに役立つ有意義な情報を得ることのできた、良い機会であったと思います。



國中均教授



山崎秀人主査

本校教職員受賞紹介

本校(本郷キャンパス)技術室の伊藤通子技術専門員が、平成23年度(第1回)国立高等専門学校機構理事長賞(技術職員部門)を受賞し、11月1日(火)に本郷キャンパス大会議室にて、表彰伝達式が行われました。「高専教育の高度化に伴う教育支援業務改革への貢献」が評価されたものです。また、この受賞を記念して、12月22日(木)に本郷キャンパス・オープンラボ1階にて、「技術室から見た富山高専の歩みとこれから」と題する講演会が催されました。伊藤技術専門員は、第11期の卒業生であり、1979年に本校に奉職して以来、本校の技術室発足とその発展に深く携わってきました。講演会では、学生時代の楽しい思い出から、技術室発足当初の苦難、学校教育の方向性の転換をめぐる問題に至るまで、多岐にわたって大変有意義な話を聞くことができました。実験の授業は、技術者養成を旨とする本校の教育の根幹とすべきものです。伊藤技術専門員は、こうした実験を通じて、社会が高専卒業生に期待する能力、すなわち「技術コミュニケーション力」「チームワークやリーダーシップ」「エンジニアリング・デザイン能力」等を育成するため、種々の教育理論や手法を研究し、本校に適した教育プログラム開発に取り組んでいます。



合同球技大会

合同球技大会の運営に携わって

本郷キャンパス 学生会体育局局长 物質工学科4年
山崎元太郎

今年で2回目となる合同球技大会が今年も開催されました。昨年の反省を踏まえたいうえで、学生全員が楽しめるような合同球技大会にすべく、射水キャンパスの担当の方々や、学生会執行部全員で精一杯取り組みました。また、両キャンパスの交流の機会もあまり多くないため、この合同球技大会が両キャンパスの交流の場になれば、という思いもありました。そのため今回の合同球技大会では球技種目とは別に、射水キャンパスでは大縄跳びと3on3、本郷ではペア記念撮影企画を設け、学生の交流の場を作りました。これで、学生間の交流をはかれたのではないかと思います。

合同球技大会当日は天候に恵まれずあいにくの雨で、本郷キャンパスでは外で行われるサッカーが中止となってしまいましたが、学生は体育館内の競技で大いに盛り上がっていました。一方、射水キャンパスでは雨天の中サッカーが行われ、泥まみれになりながらも、競技を楽しんでいました。また、体育館内の競技もとても白熱していました。

今回の合同球技大会では反省点も多々ありましたが、学生の皆さんには大いに楽しんでもらえたと思います。また、合同球技大会が他キャンパスの学生と交流を持つ機会になってもらえたらうれしいです。

本郷キャンパス 撮影：本郷キャンパス写真部



機械システム工学科2年 藤川 枝実

合同球技大会を終えて

射水キャンパス 学生会体育委員長 情報工学科4年
大場由太

6月の体育祭が終わって間もなく、私たち学生会は合同球技大会に向けて動き出しました。本郷の学生会のメンバーと夏休みから打ち合わせをして、本番に備えました。私をはじめ、学生会メンバーの多くは昨年の合同球技大会で低学年の実行委員をしていました。経験を活かすことのできるメンバーがいてくれたおかげで、本番までスムーズに行動することができました。

たった1日の行事を行うのですが、そのために数ヶ月を費やして何があっても対応できるように準備しました。おかげで、当日は雨になりましたが、大きな問題もなく球技大会を終えることができました。

後半になるにつれて、出場する競技が終了した学生が増えていきましたが、折角の合同行事なのに交流する機会が少ないのはもったいないと思い、今年は体育館で大縄跳びとバスケットを実施しました。天候はあいにくの雨でしたが、盛り上がったと思います。

この経験を通して、人を動かすことの難しさを改めて学びました。また、両キャンパスの距離があるため学生会同士の意思疎通をはかるのが大変難しいこと、合同である意義がもっと明確になるような行事を工夫することが課題だと感じました。



射水キャンパス

場見学

(4年生)

県外工場見学

環境材料工学科4年 藤川 茉利

見学の予定が決定したときから、誰でも名前を知っているだろう有名企業、施設を見て回れるということでも楽しみにしていました。しかしはじめは、この企業と環境材料工学科にはどのような関係があるのか、見学することによって果たして将来を考える役に立つのか、と感じる企業もありました。

実際に見学して感じたことは、材料と全く関連性のない企業はないということでした。もちろんJFEスチールのように材料そのものを扱っている企業もありました。しかし、直接的に材料に関係していても、材料を考えるとどこから発展させて活動・開発をしているところもあり、どこも少なからず材料と関わっていました。今回見学させていただいた企業だけでもさまざまな形で材料を扱っていることがわかりました。自分が環境材料工学科生として就職を考えるときに、金属材料そのものを扱っている企業を見るのももちろん大切ですが、広い視野でさまざまな企業を研究することがとても重要だと思いました。この県外工場見学は、就職先という意味で企業を見るときに選択肢を増やす機会になり、とても有意義なものだったと思います。

就職への実感

電子制御工学科4年 城宝和樹・三栖詢也

私たちは、平成23年10月10日～14日の4日間にわたり、みなとみらい21熱供給株式会社、花王株式会社、アグリ王、富士通株式会社、川崎エコ暮らし未来館、JFEスチール東日本製鉄所、全日本空輸株式会社(ANA)を見学してきました。その中でも特に印象に残った企業をいくつか紹介したいと思います。

まず、アグリ王では独自に開発したLEDライトを野菜にあてることによって成長を促進させる、という事業を見学してきました。LEDの光の波長を調節することによって植物の栽培に最適な環境を作り出すことができ、発光量を変えることで、生育に合わせた栽培を可能にしていました。実際に試食させていただいたレタスは、普段のものとは何ら変わりがなくて驚きました。

全日本空輸株式会社では実際にドッグ整備しているところを見学させていただきました。間近で航空機やエンジンを見させていただき、スケールの大きさにとても感銘をう



電子制御工学科



情報工学科

けました。わたしは今まで航空会社に興味を持っていなかったのですが、今回見学させていただくことでこの場で働きたいという思いを強くしました。

今回の工場見学で経験したこと、学んだことを今後の就職活動に活かしていきたいと思いました。

貴重な経験となった工場見学

情報工学科4年 水上仁志

10月に行われた工場見学で、情報工学科は、初日はマイクロソフト、2日目に日本科学未来館、東京証券取引所、3日目に富士通、東芝未来館を見学しました。初日のマイクロソフトでは、エバンジェリストと呼ばれる方が、マイクロソフト社の説明や、ウィンドウズ、クラウドなどの製品の紹介をされました。また、今後求められる能力の話もされ、とても参考になりました。2日目の東京証券取引所では、東証上場企業の株価の値が表示される電子掲示板が上で回転していて、その下では不正取引を管理している人が働いていました。ビデオや実際の取引のシミュレーションなどを交えて、株取引の仕組みを学ぶことができました。3日目の富士通では、医療やセキュリティー、農業など多方面の分野で行っている技術開発の説明をしていただきました。なかでも、世界一のスーパーコンピュータ「京」の一部が展示してあったのは非常に興味深かったです。さらに、実際に職員の方が働いておられる職場を見学することができ、その雰囲気を知ることができました。

今回の工場見学は、将来を明確に考える上で非常に良い機会になったと思います。この経験を就職活動や将来に活かしたいと思いました。

進路につながる流通見学

国際流通学科4年 太田美咲

私たちは10月に行われた関東流通見学でJICA地球広場、東京税関、外務省、ウエスティンホテル東京、大田市場を見学しました。

JICA地球ひろばでは、発展途上国の様子が紹介されている展示物があり、そこから途上国が直面している問題について学びました。印象に残ったのは途上国の子供達が貧しくとも笑顔で過ごしている写真でした。「わたしたちはその子供達のために何が出来るか」ということを深く考えさせられました。

外務省では、ロシアで勤務された方の話を聞き、海外勤務を通じて海外から見た日本を知ることができると感じました。外務省で働くことで視野が広がると実感しました。

ウエスティンホテル東京では、結婚式場やスイートルームなどを見学しました。一流のサービス、一流の設備はワールドワイドなホテルの証だと感じました。卒業生の方からはホテルの仕事だけでなく、自分の就職活動についても説明していただきました。今後の参考になるお話を聞くことができました。

今回の流通見学は私たちにとって貴重な経験となりました。この経験を学校生活や今後の就職活動に活かしたいと思います。



国際流通学科

2・3年生

県内工場見学 (本郷3年生)

県内工場見学

機械工学科3年 米本 太治

機械工学科は、三菱ふそうバス製造株式会社とコマツNTC株式会社の二社を見学しに行きました。ふそうバスではまず会社について大まかに説明してもらった後、無線機片手に工場に入って行きました。工場内は作業音でうるさく、隣の人の声を聞くのがやっとの状況で、無線機がなければ説明を聞くことはできなかったと思います。作業員の方は皆真剣で、職場の雰囲気を感じることができました。塗装のラインは企業秘密ということで見学できませんでしたが、ボデーの組立から検査までの一連のバスが作られていく流れを見て、素直に感動しました。

コマツNTCでも、最初に会社について説明してもらいました。コマツNTCは国内外の自動車業界や半導体業界を代表に、世界経済の成長に欠かせない生産設備を提供し、世界の頂点で評価される「壊れない機械」造りを目指している会社だそうです。常に世界を視野に入れていてすごいと思いました。工場内は整理整頓が行き届いていてきれいでした。

今回の工場見学を通して、自分の将来を考えることができました。今までは曖昧にしか考えることができなかったけれど、本物の職場を見ることにより、自分が何をしたいのか具体的に考えることができ、将来を見通すことができました。自分にとって今回の工場見学はいい経験になったと思います。

県内工場見学について

物質工学科3年 林 千尋

3年物質工学科は、高岡の第一ファインケミカル株式会社と、八尾の日東メディック株式会社で工場見学を行いました。

第一ファインケミカルでは、普段は目にしない医薬品の原料を見ることで、全ての製品は人間の手から生み出されていることを改めて実感しました。

日東メディックでは、とても厳しく管理された目薬の製造環境を自分の目で見て、自分自身もよく使う身近な目薬が安全性を疑うことなく普通に使えることが、どれだけ大変なことがよくわかりました。

2つの企業に共通して感じたことは「あくなき探究心」でした。どちらの企業も利益だけを追求するのではなく、消費者のことを第一に考え、現状に満足せず、より良いものをより良い方法で創りだそうと努力していることが伝わってきました。働いている人たちは、一人の小さなミスにより企業に大きな損害を与えるかもしれない、また、消費者の信頼を一瞬にして失うかもしれないというリスクと隣り合わせで働いています。だからこそ働いている人たちは慣れた仕事であっても真剣に丁寧にこなしていました。

今回の県内工場見学では、人とのコミュニケーションや責任感、そしてしっかりと勉強して社会で役立つ知識を身につけていくことが、これからの自分にとって必要だと感じました。



物質工学科

校外活動

県外研修 (2年生)

研修に参加して

国際ビジネス学科2年 浜浦 このみ

私たち2年生は今年の研修で高山に行きました。高山までの長い移動時間も、私たちのクラスはバスの中でとても賑やかでした。

高山に着くと、それぞれのグループで事前に立てた計画に沿って自由行動をしました。グループによって行動の内容は様々で、高山の名物を食べ歩くグループもあれば、博物館や記念館を中心にまわるグループもありました。私は4人グループで古い町並みを見て回りながら、名物を食べ歩きました。町の雰囲気はとてもあたたかく、どこか懐かしい気持ちになりました。高山には家族と行ったことがありましたが、同じ学年の友達と行ってみるとまた違った楽しさがありました。そこでしか食べられないものやそこでしか見られない景色を楽しむことができ良かったです。

研修を通して、学校での勉強では学べないような日本の伝統的な町の良さを学ぶことができました。また、クラスの仲やそれぞれのグループの仲がさらに深まったと思います。

高山研修を終えて

電気制御システム工学科2年 和泉 遼

私が高山への研修を経て感じたのは、歴史のある場所には学べるものが多いということです。とはいうものの、私は最初バスでの移動が5時間以上だと聞いて、少し億劫に感じていました。しかし、瀬戸先生に必ず行くよう言われた高山陣屋で、その考えを改めました。そこで私達を迎えてくれたのは、数々の資料と歴史ある物たちでした。それらは、教科書を見れば載っているものなのですが、実際に目の当たりにしてみると、資料などの傷み具合はつきりとわかります。さらに、時代を感じさせる建物・町並みの独特な雰囲気といったものが、過去の出来事をよりリアルなものとして、私たちに伝えてくれます。歴史というのは、五感をフルに活用して初めて、深く理解できるのではないかと、思いました。私はこの研修で、そんなことに気付かされたので、高山に行ってきたと改めて思います。



高山別院照蓮寺の山門にて



両キャンパスの学生いっしょに記念写真 (城端SAにて)

スキー合宿 (射水3年生)

スキー合宿の思い出

スキー合宿委員長 電子制御工学科3年 柳橋 翔馬

私は2011年度のスキー合宿の実行委員長を務めました。正直そのような大役は苦手分野でしたが、皆さんの協力のおかげで何とか務めることができました。

スキー合宿というのは、3学年でスキーやスノボ、フアンスキーを楽しむ1泊2日の学校行事です。残念なこと次の学年からはなくなってしまおうと、私たちが合宿をする最後の学年でした。

当日の天候が心配されていましたが、1日目はとても良い天気で、みんな思い思いに楽しく滑ることができたようです。2日目は途中で雪が降り始めましたが、それでもお構いなしに、服や髪を凍らせながらも時間たっぷり遊んだ学生もいました。

スキーだけでなく、1日目の夜は、ラオスやマレーシアから来た留学生が自分の国の話をしたり、私たち

実行委員が用意したスライドショーを上映したりもしました。ウケはなかなか良かったようで、にぎやかな夜になりました。

これまでのスキー合宿では、何年か連続で救急車を呼ぶ事態になったことから、けが人が出ないかを最も心配していましたが、今回のスキー合宿では目立ったけが人もなく、安全に終わらせることができました。

最後にふさわしい、最高のスキー合宿になったと思います。私も実行委員長になって大変な思いをしましたが、終わってみればとてもいい経験になりました。このスキー合宿を成功させることができ、本当にうれしく思っています。

最後のスキー合宿

スキー合宿副委員長 商船学科3年 正所 実葉

今回私は、実行委員会に入ったのが初めてだったので不安でした。事実、初めてのことだらけでありました。しかし、実行委員の皆で冬休み前から集まり、レクリエーションでのスライドショーを作ったり、しおりを製本したりしているうちに、最初に感じた不安はなくなり、楽しい気持ちで仕事をすることができました。そして、学年皆の一人一人の思い出に残るようにと、実行委員会がみんなで努力して作ったスライドショーは、非常に盛り上がりました。スキーも、初日は天候に恵まれ、みんなのびのびとスキーを楽しむことができました。2日目はあいにくの天気でみんな悪戦苦闘していましたが、みんな雪と格闘しながらも元気よくスキーを楽しんでいました。また、2日目は初日よりスキーが上達し、嬉しそうに見えました。自分

自身この合宿が非常に楽しいものだったので、今年度でこのスキー合宿が終わってしまうのがたいへん残念です。後輩たちにもスキー合宿の楽しさを実感してほしいと思いました。ともあれ、このスキー合宿での経験をこれから活かしたいと思います。



立山極楽坂スキー場にて開講式